

—低温科学研究所 共同研究集会—

「南極海洋—海氷—氷床システムの相互作用と変動」

日時：2015年10月20日（火） 13:30～18:40

場所：北海道大学 低温科学研究所 2階講義室（215）

【プログラム】

○情報共有・国際関連

13:30-13:45 青木 9期重点研究これまでの経緯

○研究紹介・情報提供・観測提案

13:45-14:05 中村 ALOS2 で求めた白瀬氷河とメルツ氷河の流動場

14:05-14:25 山之口 衛星で見る白瀬氷河と茅氷河・西方棚氷の接地線・面積変化
—1970年代からALOS-2まで—

14:25-14:50 杉山 氷床・海洋相互作用 —南極における最近の研究動向と GRENE グリーンランド研究—

14:50-15:15 牛尾 リュツォ・ホルム湾の定着氷はなぜ準周期的に崩壊するのか？

—多雪域の海氷成長限界および海洋環境と氷山の動態からのアプローチ—

15:15-15:40 豊田 海氷コアから推測される昭和基地周辺の定着氷の発達と崩壊のプロセス

[休憩]

15:55-16:20 佐藤 昭和基地周辺、リュッツホルム湾の地形・海洋データと ice ocean モデリング

16:20-16:45 北出 南極底層水昇温・低塩化期における深層循環の変貌解明と江戸っ子1号観測

○現場観測計画

16:45-17:05 清水他 JARE オペレーションの現況

17:05-17:25 田村 氷床海洋相互作用班の観測研究計画概要

17:25-17:50 青山 氷河測地グループの観測計画とドローン観測

17:50-18:10 菅沼 しらせでできるコア観測

18:10-18:20 青木 海洋観測計画

○総合討論

・野木 9期重点今後のスケジュール

・その他